

改憲阻止にみなぎる決意！ 06年度県大会開かれる

茨城県平和委員会06年度大会がグリーンパレス石岡で6月3日、午前10時きっかりに開催されました。30の平和委員会・平和の会から70名の代議員・役員が参加しました。34の平和委員会・平和の会で参加できなかったのは4組織でした。また、日本平和委員会から岩月さん、及び来賓で日本共産党県会議員の山中たい子さんが挨拶に来てくれました。社民党・新社会党はご案内致しましたがお出でいただけませんでした。

発言者は延べ17名で主な内容は以下のとおり。

「米軍再編」について：水戸西・内原友部・石岡・鹿行

国民平和行進について：古河・水戸西・東海

憲法守れ「9条の会」について：石岡・東海・おおみや

教育基本法について：内原友部

「国民保護法」について：下館・日本平和委員（特別発言）

仲間づくり・運動・組織強化について：鹿行：筑守・おおみや・阿見

新聞意見広告：笠西

05年度活動の主なまとめ

1. 「F15来るな2・25県民集会」について：みんなが他団体と一緒に奮闘に1000名以上の集会を開催できた。この事は平和委員会始まって以来の画期的なことです。日頃の地域・職場の草の根運動の活動が結実したという教訓を引き出しました。

2. 仲間づくりについて：この1年間で101名増やしましたが80名もの方々が死去したり止むを得ず退会されました。「仲間は増やせるけど辞める人も多い」この現実を突破する課題をどう乗り切っていくか。各平和委員会・平和の会が日常的な会議や取り組みの中で仲間づくりのはなしをしていく事の大切さを確認しました。

3. 活動のあり方について：平和委員会は市民団体としての性格を保持していくには、最低年1回の総会、年間の取り組み、会計報告などをキチンとすることが必要と強調さ

れました。

06年の方針の特徴

1. 9条改悪を断念させるまで、今年はその正念場として地域・職場で取り組みをさらに強めます。また、教育基本法改悪反対・「国民投票法案」「国民保護法」などの取り組みをすすめます。

2. そのためにも県内を県北・県央（水戸周辺）・鹿行・県西・県南（2つ）の6つのブロックに分け運動を強めます。今年から「地域援助金」として各ブロック毎に5万円予算計上します。

3. 仲間づくりは実質1000名とします

06年度平和委員会県大会に参加して

その1

さかい平和委員会 金子 勉

茨城県平和委員会06年度大会が招集され、「さかい平和委員会」が昨年10月に結成されて初めての県大会ということもあり、染谷事務局長と2名で参加しました。

通知では、05年3月の会員が代議員資格要件ということであり、参加資格があるのかなと思いつつも、民主団体のことだから門前払いはないだろうと会場に着席しておりましたが、冒頭に伊達事務局長が06年3月に訂正されたので「やっぱり」と納得。

会場内は県内各地からの参加者で満席。しかも予想を大幅に上回る(?)年齢層の集まり。ところが、経過報告や活動方針の発言になった途端に、熱の入った力強い発言が続き、これまたびっくり。「平和と民主主義を守る」という国民共通の願いを実現する運動ですから、幅広いことは当然だとは思いながらも、各代議員の発言は、会活動の実践を教訓とした自信と展望にあふれたもので、組織されたばかりの「さかい平和委員会」に



伊藤さん

取りましては、これからの活動への大きな確信とパワーをもらってきたような思いがしています。

その2

阿見町平和委員会 福田 正

印象に残った討論のシーンがありました。

米軍機F15来るな!!のポスター20枚?ほど許可を得ないで小川町のある所に掲示したところ数枚を残して取り外されていた。残されたポスターを見て全数除却されていないことに“感謝”したと述べていました。この討論者は運動経験者で、高齢者でしたが決して言い訳、大義名分、非難がましいことを口にしませんでした。

もちろん当日の“論点”は憲法9条改悪反対にどう取り組んできたか、今後の運動方針を確認し各市町村における平和の会活動の進め方の指針となる貴重な発表を得た。

各平和の会からの報告では、会員増に取り組んでおり微増との結果であった。

日常の各自の活動ではなかなかきくことが出来ないテーマについては県会議員の報告から国会では改憲手続き過程にあり大事な時期にある。また日本平和委員会からは定期全国大会へのアピールとして、アメリカは先制攻撃戦力を軍事作戦として展開しており、同盟国に対し米軍再編成みあう様な憲法改正の阻止求めている。

私は66歳で安保条約下での“自衛隊は”日本では軍隊でないなどと聞かされて久しいが、ここにきてついに自衛隊活動が違憲にならないように改憲する、これはつまり日本人による指揮命令で国外での集団安全保障活動や日本単独で作戦行動が行える憲法に改めることを持って世界平和に貢献することではないか???

平和かわら版

440
月3回 発行

平和新聞茨城版

2006.6.15

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



06年度茨城県平和委員会役員新体制決まる

代表理事 飯村一雄(再) 加藤岑生(再) 松原日出夫(再) 水野秩一郎(再)
山口由夫(新)
事務局長 伊達郷右衛門(再)

理事及び常任理事(網掛け)

北茨城	齊藤寿夫・鈴木孝夫
美和緒川	高沢喜一・
日立	岩間雅美
太田	福田 亘男
大宮	小野瀬實
東海	加藤岑生・川崎勝男
ひたちなか	飯村一雄 ・人見忠男
那珂	川又俊水
水戸	佐川広文
水戸西	大曾根紀雄・小川弘二・ 飯村一雄 ・松原日出夫
水戸南	石島昭夫・ 飯村一雄
花だいこん	菊地浅子・中山弘子
はばたき	飯村一雄
内原・友部	飯村一雄・円道正三・伊達郷右衛門・山田修一
笠西	池田征一・多崎貞夫
鹿行	内田泰山・ 飯村一雄 ・ 飯村一雄 ・関口正司
潮来役場	佐藤正美 ()
池貝	小川隆
石岡	飯村一雄 ・植田金雄・川並英二・山口由夫
八郷町	町田健一
百里	栗又衛
土浦	飯村一雄 ・山口雪雄
阿見	水野秩一郎・福田正
つくば	飯村一雄
筑守	飯村一雄 ・齊藤哲
竜ヶ崎	町田正昭・宮沢利春
江戸崎	飯村一雄
藤代	根本和彦・杉山恵美子
取手	花沢楓・



下館 ~~秋元さん~~・川澄正明
結城 ~~飯村一雄~~・宮本一子
さかい 金子勉
古河・総和 鈴木昌康・~~飯村一雄~~
五霞 青木不二子
会計監査 荒木睦子(再)・羽鳥茂(再)



日本平和委員会理事及び常任理事

全国理事 芦田洋治 伊達郷右衛門 人見忠男 水野秩一郎
山口由夫
全国常任理事 加藤岑生



ご苦労様でした。(退任)

代表理事 小林茂
常任理事 佐川広文 正慶岩雄
理事 荒木昭人 大内俊正 神原要
杉山とし子

政府教育基本法の問題点

笠西平和の会 多崎久子

なぜ今、教育基本法を全面「改正」しなければならないのか、という立法理由が何も示されず、現行教育基本法の廃滅(死刑)法案が出されてきました。

今教育に起こっている諸問題は、教育基本法に原因があるわけではありません。教育基本法に反する行政を進めてきた歴代の政府、文部(文科)行政にこそ最大の原因があるのだと思います。

そのねらいは、人間(個人)のための教育から国家のための教育に、教育の自由・自主性を保障する法律から、国家による教育統制を正当化する法律に180度転換させるものです。

そして、「お国のために命を投げ出してもかまわない」という「戦争をする国」の人材育成をめざすもので、「憲法改悪」と連動したもののなのです。また、国家が目標を設定し、それに向かって競争させ、評価し、子どもを「勝ち組」「負け組」に振り分ける格差是認の教育体制をつくりあげようとしているのです。



事務局便
事務局にある民主団体の人がカンパを募りに来た。
「どここの大会に代表を派遣する費用に」と。一生懸命なんだろうが、どうもこの種のカンパは、安易なところから募る傾向が強いように思われる。もし、お金に色がついていたら財布の中は一色だろう。
事務局も群馬全国大会に向け、今お金をかき集めている。(ま)